



NO. 813
 発行
 2014年
 4月18日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 上石 昌彦
 編集責任者
 教 宣 部

労働条件を守るの闘い善と 職場を改善を



4月5日、第27回新潟地方貨物協定期員会が地本事務所2階で開催されました。

役員・委員・傍聴者など出席、関東貨物協から榎戸事務長が来賓で出席し、地本からは藤井副委員長が出席しました。

定期委員会ではダイヤ改正後の問題点や職場の状況が報告されました。



大塚副議長の開会あいさつで始まり、議長に小島委員を選出しました。

勝山議長あいさつ

勝山議長は「貨物職場が縮小している。会社は社員の削減や賃金削減などまで踏み込んでいる。職場、労働者を守る闘いが重要になってきている。貨物協としても運動を積極的に進めていこう」とあいさつがありました。

関東貨物協 榎戸事務長 あいさつ



春闘行動・回答状況について 署名は関東貨物協で528筆・新潟は28筆を集約しました。昨年より少なくなっています。要請書のハガキを含め支社に提出しました。

各地方では、春闘総決起集会の開催や組織拡大の取り組みが展開されました。客・貨一体の取り組みで要請行動を展開しました。

その背景で貨物会社は0回答でした。本社へはFAX行動・ハガキ行動が展開され新潟からの要請書28枚を集約し提出しました。

春闘の回答状況は、JR東日本(1635円) JR東海(1500円) JR西日本(500円)のペースアップでした。JR北海道は13年連続ベア0・JR四国は定期昇給のみ・JR九州はベアは実施しない・JR貨物は15年連続のベア0・定期昇給のみ、55歳以上の社員は1500円の賃金改善となりました。

組織拡大について、関東では4名の拡大がありました。要求の多数派から組織の多数派へ運動を進めていきましょう。

続いて、地本からは藤井副委員長があいさつしました。
 藤井副委員長は、春闘の取り組み、地本での独自の春闘総決起集会や宣伝行動の取り組みなどの報告。組織拡大について訴えました。



全体の意見

●黒井駅はDLからELへ入換業務が変更になった。架線終端のところで入換作業が発生している。要員が減らされている状況から事故が発生する危険性がある。社員の高齢化が進んでいる。

4時間日勤が導入された。なれない、休日発生が起らない。やとと特休・公休が入る実態だ。現在、関連会社へ出向しているが入換業務とリフト作業を担当している。入換作業とリフト作業を同じ担当者が行っている。二つ同時の作業ができないので内部矛盾が発生している。どちらを優先させていいのか判断が難しい。現在は人間関係で仕事を保っている。

高齢者60歳以上、賃金は75%だを超勤すると年金額が下げられる。

超勤すると13万円から増える年金額が減らされ総額は同額になる。会社に対して、手当・賃金について、きちんとした対決をしていくこと。全体で意思統一し労働組合としての立場を堅持していくこと。



●国鉄からJR移行時にJR貨物に採用されたが、すぐにJR東日本へ出向になった。最近、JR貨物へ戻ったが関連会社へ出向となった。仕事は同じ電車の仕業検査と分割・併合作業だ。会社が違うのでJRと共同作業ができない。作業では不都合が多くある。作業上の手続きが難しくなっている。偽装を防止するために作業手順が複雑化している。

4月1日から電車の統合作業がある。真つ暗なところでの作業になる。作業指示はJRからかってくるが、職場からの声は聞こえないという実態だ。





● 曜日運休の列車が復活運転になると、勤務上の休みが休めなくなる。予備対応と支社は言っているが休みの乗務員へ、しわよせになっている。各系統へ影響が出ている。

● JR貨物会社の経営陣が変わり経営内容に変化が出てきている。列車の運用について、貨車・空列車を走らせないため長距離運用になる。近距離運用が少なくなった。空コンテナが来なくなった。そのため列車の貨車設定が困難になった。荷主からも空コンテナを要請している。現在、JRではなく関連会社が手配している状況だ。

● 黒井駅での入換作業について、長時間にわたって踏切を支障する作業がある。本線列車通過などあると踏切遮断時分がさらに長くなってしま

初夏のレクリエーション 「潮干狩り」交流会!



日時 2014年6月2日(月)

潮干狩り時間帯 11:00~14:00

交流会12時00分より

場所 千葉県木更津市・木更津海岸中之島公園

木更津駅から徒歩20分 参加費 1,500円

当日情報 早めの時間に予定を...

潮干狩り入場料 大人 2キロまで 1,400円

小人 1キロまで 700円

超過料金1キロ 800円 各種レンタルあり。



連絡 各地方で参加者を集約し5月25日までに関東貨物協 榎戸事務長に報告とします!

国労東日本本部 関東貨物協議会

● ダイ改後、関連会社の業務が日勤帯になった。列車が遅れた場合は出勤しないことで日勤帯になった。出勤が3人から2人になり、1人転勤になった。4月1日に入社している。心配している。

● 信号担当の業務は、午前中は業務が少ない。夕方まで無い状況だ。この状態だと要員削減が予想される。障害者の採用を考えていくべきだ。来年2月に60歳を迎える社員がいる。勤務は日勤を希望している。出向や転勤が発生すれば難しくなってくる。会社は障害者の配慮をして欲しい。通える範囲で仕事をさせていくこと。支社は各職場で調査をしている。急に発令行為がある。きちつと職場を守る闘いを進めていくこと。

● 出向先での労働条件の改善、安全に作業ができる環境をつくっていくこと。会社の設備について古くなっている。会社は設備を改善しない。要員の削減など強行し職場が無くなっている現状だ。障害者の雇用について事務系の業務を確保、職場の確保

議長集約

● 进行交流を開催し、さらに交流を深めました。

● 进行交流を開催し、さらに交流を深めました。

● 进行交流を開催し、さらに交流を深めました。

